

ニチイキッズ茶屋町小規模保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月15日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子ども一人ひとりの個性を大切にしながら個々の関わり方を工夫し保育することが出来た。また、おもいっきり保育の実践を意識し、子ども達の中の新しい発見や気づきを大切に、様々な経験が出来る環境づくりに努めた。
子どもの発達援助	子どもの個性をありのまま愛情豊かに受け止め、発達過程や意欲を踏まえ、自我の芽生えを大切にしながら愛着関係を築くことに努めた。異年齢児の関わりにおいては、子ども達が年齢の枠を超え、お互いに学び成長出来る環境づくりに努めたが、それぞれが安全に集中して遊べる環境づくりを工夫する必要がある。
保護者に対する支援	保護者一人ひとりに寄り添い共感的に関わることに努め、行事を通常開催し、子どもの成長を共に喜び合える関係作りを目指した。また、子育てひろばや活動体験会を通して地域の子育て支援の役割を果たすことに努めた。
保育を支える組織的基盤	全職員で子ども達の成長を見守り、ミーティングなどにおいて情報共有を図ったが不十分な点があり課題である。今後も職員間の丁寧な伝達や情報共有に努めたい。

総評
職員一人ひとりが「保育の振り返り」を行い、危機管理意識の向上に努めながら環境や保育の見直しとミーティング等を通して定期的に行うことが出来た。情報共有においては周知や伝達方法に課題が残ったが、子ども達の成長や気づきをありのままに受け止め、保護者の皆様と共有し、より一層の相互理解を深め、子ども達の育ちを安全に支えるよう努めてまいります。